

## 第4章 逸脱行動と家庭環境・家族関係

### 第1節 青少年の家庭環境

#### (1) 青少年の家庭生活満足度

本章では、青少年の逸脱行動と家庭環境や家族との関係について検討してみたい。

調査では家族に関して、家庭生活への満足度と不満の要因（11項目）、家庭環境（4項目）、父親・母親との関係（それぞれ13項目）などを質問している。本節では青少年が自分の家族をどのように捉えているかを把握しておこう。

まず、青少年は現在の家庭生活に満足しているのか、また不満の理由にはどのようなものがあるのかをみてみよう。表4-1は、家庭生活への満足度を属性別にみたものである（満足計は「満足」と「やや満足」をたしたもの）。全体をみると、「満足」の合計は75.5%（「満足」32.6%、「やや満足」42.8%）と高い値を示し、4分の3の青少年が現在の家庭生活に満足しているという状況である。学校生活への満足度59.0%と比較すると家庭生活への満足度は約17ポイント高く、青少年の不満の対象として家庭生活が大きな位置を占めているとはいえないことがわかる。

表4-1 家庭生活の満足度（全体、属性別）（%）

		満足計	内「満足」
全体		75.5	32.6
性別	男性	78.8	32.7
	女性	72.5	32.8
学校立地	都心	73.7	32.4
	その他地域	76.4	32.8
大学進学率	A（高）	79.9	36.6
	B	77.7	33.5
	C	72.6	30.8
	D（低）	69.8	28.9

次に属性別に満足度を見ると、性別では「男子」が、学校立地では都心以外の「その他地域」の方が家庭への満足度が高い。また大学進学率では進学率が高い学校に通う大学進学率Aの方が家庭生活への満足度を示す数値は高くなる。特に大学進学率での差は大きく、進学率AとDでは10ポイント近い差があり、性別、学校立地別と比べその差が大きいことがわかる。次に、家庭への不満の要因を具体的にみていこう。

表4-2は、「特に不満はない」を含め家庭で不満に思うことを11項目あげ、いくつでも回答としてよいとして質問した結果である。

まず全体の欄をみると、どの項目も25%を上回る項目はなく、現在の青少年が共通にもつ家庭への不満内容を指摘することはできない。上位にあがっているのは、「こづかいが少ない」「家庭の収入が少ない」「家が狭すぎる」といった家庭の物理的環境に関するもの

で、不満の内容も非常に深刻なものであるとはいえない結果である。4位にはじめて「親が自分を理解してくれない」という親との関係をあらわす項目がくる。また、「父親と自分がうまくいっていない」と「母親と自分がうまくいっていない」とを比較すると、「父親」が「母親」の約2倍になっており、高校生は母親よりも父親との関係に難しさを感じているといえる。

次に、属性別に結果をみていこう（網掛部分は属性別の比較で高い数値を示したものの）。まず性別でみると、女子が「家庭内に争いごとがある」と「きょうだいと自分がうまくいっていない」以外の8項目で男子よりも高い値を示しており、家庭の不満の要素が男子に比べ多いことがわかる。また学校立地の違いでみると、「都心」はどの項目でも「その他地域」よりも高い値を示しており、青少年の家庭環境を考えるうえで学校立地の要因が意味を持っていることがわかる。特に「家庭の収入が少ない」と「家が狭い」は全体の数値と比較するとかなり高い値を示しており、都心という地域特性は、家庭内の人間関係に影響を与えているというよりは、物理的生活環境に影響を与え、そのことが家庭の不満を高めていることができるようである。大学進学率別では明確な傾向をみて取ることはできないが、進学率Dに高い数値を示した項目が多い。特に「家庭の収入が少ない」については進学率Aと比べて14ポイントも高い。また不満の合計値をみると、今回取り上げた属性の中では進学率Dが最も高く、また「特にない」と答える割合は最も低く、高校の大学進学率による家庭生活への満足度の違いをみて取ることができる。ただし「家庭内に争いごとがある」「父親と自分がうまくいっていない」という比較的深刻と考えられる不満が進学率Aで最も多く、大学進学率と家庭への不満との関係は単純に結びつけて解釈できない面がある。

表4-2 家庭生活への不満の内容（全体、属性別）（％）

	全体	性別		学校立地別		大学進学率別			
		男子	女子	都心	その他地域	A	B	C	D
こづかいが少ない	24.3	24.0①	24.3①	25.1③	23.8①	20.4①	25.2①	27.3①	23.5③
家庭の収入が少ない	22.3	20.2③	24.1②	27.1①	19.7②	17.2③	19.8②	23.1②	31.2①
家が狭すぎる	21.0	20.4②	21.6③	27.1①	17.7③	20.1②	18.3③	21.7③	26.0②
親が自分を理解してくれない	15.3	12.4⑤	17.6④	16.7④	14.5④	13.1⑥	14.6④	16.8④	17.0④
家庭内の争いごと	13.5	13.8④	13.0⑦	14.0⑤	13.2⑤	14.5⑤	13.6⑤	13.8⑥	12.1⑧
父親と自分がうまくいっていない	13.2	11.3⑥	14.7⑤	13.6⑦	13.0⑥	14.7④	13.1⑥	12.4⑦	12.8⑦
ほしい物をかかってくれない	12.2	11.2⑦	13.1⑥	13.9⑥	11.3⑦	7.2⑨	12.7⑦	15.2⑤	13.5⑤
親同士がうまくいっていない	11.0	9.0⑨	12.9⑧	11.1⑧	11.0⑧	10.0⑦	11.5⑧	9.1⑨	13.2⑥
きょうだいと自分がうまくいっていない	9.6	10.5⑧	8.8⑨	10.3⑨	9.3⑨	8.6⑧	8.8⑨	10.7⑧	11.0⑨
母親と自分がうまくいっていない	6.2	5.4⑩	6.8⑩	7.0⑩	5.7⑩	5.0⑩	5.4⑩	7.9⑩	7.0⑩
合計	148.6	138.2	156.9	165.9	139.2	130.8	143.0	158.0	167.3
特に不満はない	29.4	33.6	25.6	26.5	31.0	33.0	30.0	29.1	24.9

## (2) 青少年の家庭環境

調査では、家庭の様子について「家に帰るとほっとする」「家族でよくおしゃべりする」「私の家族は仲がよい」「我が家は豊かなほうだと思う」の4つの項目で質問している。表4-3は「とてもあてはまる」「少しあてはまる」の回答をたした数値を表示したものであるが、「我が家は豊かなほうだと思う」以外の3項目で80%を超えており、今回の調査対象となった青少年の家庭では、円満な家庭環境が作られているといえるようである。

また属性別にみても大きな違いはみられない。ただし、「我が家は豊かなほうだと思う」という質問に対しては、大学進学率のDで全体より約10ポイント低い値を示していることには注目する必要がある。

表4-3 家庭環境（全体、属性別） (%)

	全体		性別		学校立地別		大学進学率別			
		とてもあてはまる	男子	女子	都心	その他	A	B	C	D
家に帰るとほっとする	90.4	46.8	90.0	91.0	88.9	91.3	91.5	89.8	91.5	89.6
家族でよくおしゃべりする	80.1	38.6	75.3	84.7	79.2	80.6	80.8	81.1	77.7	79.8
私の家族は仲がよい	82.7	38.6	81.8	83.6	82.4	82.9	85.5	82.8	82.3	80.1
我が家は豊かなほうだと思う	65.3	16.6	62.8	67.7	59.2	68.6	67.4	70.1	65.7	54.1

## (3) 父親・母親との関係

これまで青少年の家庭生活への満足度、不満の要因、また家庭環境についての質問結果をみてきたが、全体の傾向としては、家族に対する満足度は高く、家庭環境についても経済的要因を除いてよいイメージが持たれていることがわかった。そこで次に、父親・母親との関係から青少年の家族関係を探っていこう。

表4-4は、父親、母親それぞれとの関係13項目について、「とてもあてはまる」「少しあてはまる」と答えた人の割合の合計と父親と母親の差を示したものである。

表をみてわかるように、父親、母親との関係は決して悪いものではない。「私は父親（母親）に大切にされている」と答えた割合は、父親、母親それぞれ8割を超えており、また「父（母）親の信頼を裏切るようなことはしたくない」、「父（母）親は結果だけでなく努力を認めてくれる」もそれぞれ7割を超える回答になっている。また「父（母）親には見習いたい点がある」という、親をモデルにしたいという青少年もそれぞれ6割以上いる。さらに「父（母）親のしつけはきびしいほうだと思う」と答える青少年は父親、母親ともに約50%であり、約半数の家庭で子どもが厳しいと感じるしつけが行われていることがわかる。なお、「小さいときに父（母）親から、たたかれたり、なぐられたりした」は父母ともに約25%であり、父親と母親とでは差はなかった。

また父親と母親を比較してみると、「父（母）親にしかられるのはこわい」「父（母）親は私のことを全然かまってくれない」「小さいときに父（母）親から、たたかれたり、なぐられたりした」の3項目以外は母親の数値の方が高く、青少年と親との関わりは、父親に比べ母親の方が深いといえそうである。母の値が父に比べ特に高かったものは、「母親は

私の話を聞いてくれる」「最後に私の味方になってくれるのは母親だと思う」「母親には見習いたい点がある」で、父親に比べ母親が身近な信頼できる存在となっている様子がわかる。また父親は「父親にしかられるのはこわい」「小さいときに父親から、たたかれたり、なぐられたりした」の2項目で母親と比較して高い数値を示し、母親に比べ厳しい父親像をみて取ることができるが、「父（母）親のしつけはきびしいほうだと思う」という質問については母親の方がわずかであるが数値が高く、しつけという教育的行動では母親の方が厳しいと考えられている。また、「私に対する父（母）親の期待を負担に感じる」という質問については母親の方が高くなっている。

表4-4 父親・母親との関係（全体）（％）

	父親	母親	母親-父親
父（母）に大切にされている	82.3	87.6	+5.3
父（母）の信頼を裏切るようなことはしたくない	72.5	79.2	+6.7
父（母）は結果だけでなく努力を認めてくれる	70.4	78.0	+7.6
父（母）は話を聞いてくれる	69.7	90.7	+21.0
父（母）から信用されている	68.6	74.2	+5.6
最後に味方になってくれるのは父（母）だと思う	64.3	81.7	+17.4
父（母）には見習いたい点がある	63.4	75.5	+12.1
父（母）にしかられるのはこわい	57.0	37.6	-19.4
父（母）のしつけはきびしい	47.9	50.4	+2.5
父（母）は欲しいものはたいてい買ってくれる	39.6	40.8	+1.2
父（母）の期待を負担に感じることもある	27.5	34.2	+6.7
小さい時に父（母）にたたかれたりなぐられたことがある	25.8	25.2	-0.6
父（母）は全然かまってくれない	17.1	10.2	-6.9

次にもう少し詳しく属性別にみていこう（表4-5参照。網掛部分は属性別の比較で高い数値を示したもの）。まず男女別で父親・母親との関係をみてみよう。父親との関係については明確な傾向をみて取ることができないが、「父親にしかられるのはこわい」の女子の値が男子に比べ10ポイント近く高くなっている。しかし「父親は私の欲しいものはたいてい買ってくれる」も男子より18ポイントほど高く、半数近くの女子があてはまると答えており、男女で父親との関係の質に違いがあると考えられる。また「父親には見習いたい点がある」は男子の7割近くがあてはまると答えており、男子にとっての父親は、同じ男性としてモデルと考えられている面があることがわかる。

次に母親との関係であるが、1項目を除き他の項目全てで女子の方の値が高くなっており、「こわい」「きびしい」といった関係も含めて男子に比べ女子のほうが母親との関わりが強いということが出来る。特に男子との差が大きかったのは「母親にしかられるのはこ

わい」で、女子では半数近くが母親をこわいと思っているのに対し、男子はその半分の約25%がこわいと答えている。同様に、「母親のしつけはきびしい」と「母親には見習いたい点がある」でも男子との差が大きかった。また男子、女子ともに、「話を聞いてくれる」「最後に味方になってくれる」の2項目で父親と母親の差が大きく、父親に比べ母親が男女両方から自分に近い存在として認識されていることがわかる。

次に高校の大学進学率別に注目しよう。表には大学進学率AとDの値を載せたが、第一にいえることは、大学進学率の違いは男女の違いほどの差を生み出してはいないということである。

父親で最も差が大きかったのは「父親は私の欲しいものはたいてい買ってくれる」で差が10.8%、母親では「母親には見習いたい点がある」の14.4%であり、いずれも進学率Dの数値の方が低かった。しかしこの値は男女でみられた差の最大値よりも小さく、全体に差は少ない。第二にいえることは、母親との関係では13項目中10項目で進学率Dの数値が低く、母親との関わりと進学率の間には何らかの関係があることが予想される。

以上、性別と高校のレベルという2つの属性で父親・母親との関係をみてきたが、この範囲でいえることは、母親との関係に特徴的な傾向がみられることである。女子にとって、また進学率が高い高校に通う学生にとって、母親との関係がどのような役割をもつのか、さらに探っていく必要があると考える。

表4-5 父親・母親との関係（属性別） (%)

	父親		母親		父親		母親	
	男子	女子	男子	女子	進学率A	進学率D	進学率A	進学率D
父(母)に大切にされている	78.0	86.4	85.6	89.5	83.2	80.7	89.4	86.0
父(母)の信頼を裏切るようなことはしたくない	73.3	71.8	77.2	81.0	70.0	71.0	79.7	77.8
父(母)は結果だけでなく努力を認めてくれる	69.4	71.1	73.5	82.1	66.4	68.3	80.1	77.2
父(母)は話を聞いてくれる	71.0	68.5	89.1	92.5	67.0	68.7	92.5	88.9
父(母)から信用されている	67.5	69.7	72.5	75.9	71.4	64.2	79.2	69.8
最後に味方になってくれるのは父(母)だと思う	67.6	61.2	77.1	86.2	64.0	63.2	83.2	79.6
父(母)には見習いたい点がある	68.1	59.0	68.5	81.7	64.2	59.8	81.3	66.9
父(母)にしかられるのはこわい	51.3	62.3	24.3	49.6	53.7	55.6	36.5	31.9
父(母)のしつけはきびしい	46.6	48.9	44.1	56.0	42.3	50.9	47.5	46.6
父(母)は欲しいものはたいてい買ってくれる	30.4	48.3	34.9	46.6	41.6	30.8	41.4	36.3
父(母)の期待を負担に感じることがある	27.7	26.9	31.6	36.4	27.0	28.7	33.3	31.2
小さい時に父(母)にたたかれたりなぐられたことがある	30.9	20.8	24.3	26.2	21.7	27.7	24.2	25.2
父(母)は全然かまってくれない	18.7	15.5	10.8	9.2	14.4	18.2	8.7	12.8
合計	700.5	710.4	713.5	812.9	686.9	687.8	777.0	730.2